

1862

主 部
長 部
(限 任 員)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十八年九月二十二日(水)
海軍大臣官房

○ 辭 令

○昭和十八年五月十日

海軍少尉 北島 重秋

○昭和十八年五月二十二日

海軍少尉 木谷 富治

○昭和十八年六月十三日

海軍大尉 中山七五三松

○昭和十八年六月十四日

海軍技師 井上 季

○昭和十八年六月十五日

海軍少尉 昌 義雄

○昭和十八年六月十六日

○昭和十八年六月十六日

海軍少佐 帆 足 工

○昭和十八年六月二十日

海軍大尉 本内 達雄

○昭和十八年六月二十三日

海軍少尉 狩野 末吉

○昭和十八年六月二十四日

元海軍技師 末松 茂

(特旨ヲ以テ位一級被進)

○昭和十八年六月二十五日

海軍少尉 田中 守行

○昭和十八年六月二十五日

海軍少尉 白石 榮

(各通)

同 原田 實義

○昭和十八年六月二十五日

海軍公報 (部内限) 號外

1863

海軍公報 (部内限) 號外

○昭和十八年六月二十六日

海軍少佐 戸次保雄

敍從六位

○昭和十八年六月三十日

海軍大佐 井上左馬太

(各通)

同 佐野寅生

敍從四位(特旨ヲ以テ位一級被進)

○昭和十八年七月一日

海軍少尉 宮嶋喜作

海軍豫備少尉

同 江川良夫

同 長頭忠雄

同 女屋英二

同 東郷二男

同 鞠谷宏士

同 土岐要

同 中島晋

同 櫻岡良二

同 村上繁雄

同 谷口質

同 豊崎隆

同 土屋禎一

同 同

中之藪郁夫

道家康之助

土岐直正治

石川一郎

杉田高志

上浦鼎

山原隆人

末廣海

櫻井五郎

関根武雄

弘中芳夫

黒川眞澄

杉江英直

静仁

小山健

中西亨

岡田良一

久世勝巳

佐野泰造

落合京三郎

田中義一

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

濱水井友武伊金子伊蝶藤淺歷小佐石山諸工寺大小
野野上郁居藤子藤野田田義林藤井本橋藤口森久
收哲夫美大靖明郎鳳也夫郎邦治二隆成數夫俊
雄

(各通)

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

井宮椎加田西井濱小森佐岡大瀧前鈴粕山表申横
手保名覽中上野杉山藤田田山田木谷崎信田田
康松活清利兵國四健照民忠精金八一三幸春信剛吉
彦一夫美穂一郎二治匡次之郎恭郎太郎之司雄

1864

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
佐々木高行	千壽守	宮崎久彌	本郷明	金子六郎	安西國夫	湊末廣	西木正次	篠原益雄	宗像昇	福田富二男	佐伯舜介	赤坂真通	加村勇	山田龍夫	下谷正	細川昌治	遠藤金吾	池田正人	佐々木敏夫	関口政弘			

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
吉岡修自	黒川益雄	常盤芳盛	岡本五百藏	畠本聰臣	萩原順三	大谷順三	中原正清	大島正明	石川純一	村上博之	福田政之	橋本一夫	佐藤愛生	梁田忠夫	瀬野英太郎	經田俊雄	村岡四郎	矢吹亀藏	佐々木久	片岡資郎			

1865

○昭和十八年八月二日

(各通)

- 海軍少將 久保 九次
- 同 友成 佐市郎
- 同 下坊 定吉
- 同 西村 祥治
- 同 片岡 太司郎

敍從四位

- 海軍技師 小副川 要作
- 同 本村 由三
- 同 大畑 宇治郎
- 同 古原 富夫
- 同 丹羽 賢次
- 同 塚本 精太郎

(各通)

- 海軍司政官 河合 宗治
- 同 吉岡 恒夫
- 海軍教授 小林 清八郎
- 同 米田 桂三
- 海軍技師 渡邊 祐一
- 同 澤田 眞言
- 同 濱村 雅男

敍從五位

(各通)

- 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
- 宮井 忠藏
 - 光勢 眞一
 - 下村 暢
 - 東方 一二
 - 吉田 忠一
 - 山口 秀夫
 - 松倉 武雄
 - 永野 徳志
 - 古賀 米作
 - 齋藤 七五郎
 - 横田 清綱
 - 杉本 實
 - 後藤 吉秋
 - 安田 千代次
 - 高瀬 良次郎
 - 松井 晋作
 - 溝口 三雄
 - 菅野 三男
 - 御嶋 要
 - 安島 保男
 - 今村 嘉一郎

六

1867

敍正六位

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
安田三郎	今井榮文	飯野實	護得久朝昌	神阪三郎	奥山忠七	成田利夫	清水三郎	松尾孝	疋田遼太郎	山中三郎	小山捷	河合次男	關甚作	村上富司	梅谷重三郎	百木健	黒田正典	太田善一郎	山本實三郎

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
林万作	松平精	平田柳市	三原嘉徳	厚井高義	屋鋪新一	小山田廣	宮田應禮	宇野昌一	下村健一	歌代吉高	内山正隆	河村繁	鈴木敬信	村上宗雄	吉松捷五郎	坂手邦夫	稻木進	柿島民堂	六角留藏	大貫和一

1868

(各通)

海軍技師

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
新倉佳之輔	石井欣之助	稻垣伊太郎	山本晴之	野間口兼良	片田江星輝	田中稔	山田初男	松見兵吉	古里一十	大羽佐一	檜和田實茂	永野信夫	小林虎雄	福岡三郎	藤森幹三	有吉金太	山口嘉吉	古賀光太郎	田中春男	福井經彦	

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

山中康資	柴田傳吉	石川重吉	石橋福次	藤本雅勳	島田雅視	米永嘉勝	宇野田巖	風間憲淳	岡田憲政	大津義徳	前川力	榮木先	松波一雄	梅原信太郎	阿部一郎	加藤一啓	田中十三	新羅一郎	川崎種一	林武治
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	------	-------	------	------	------	------	------	-----

八

1869

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
松田昇治	上羽友義	林秀男	赤木二三夫	兒玉繁雄	石塚俊雄	桃野謹平	金子堅作	兒玉壽雄	石本杉太郎	下村重一	國本重一	山本加藤	中牟田健	和田猛憲	林清晃	菅井正雄	宮地茂	兵藤清	濱岡好人	廣橋任

(各通)

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
增田京次郎	天川勇	春名治	若松忠道	近藤定次	國吉重義	高橋稔	荻原繁	田原大	野崎真剛	上田太郎	日高與三郎	平野清	玉井禹吉郎	塩谷薰夫	坂田重規	高橋國包	阪本幸司	鈴木武男	和田恒章	森類雄		

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍技師	海軍教授
大和忠雄	堀内俊治	藤井英雄	吉田秀一	山口重三	山高福一	平野一雄	平井勝	吉村寛	山本初之助	柿崎祐一	西村忠恭	土井謙二	宮川貞二	石田敏則	宮内憲二郎	内田源太郎	鯨井卿吉	加藤榮一	綱島恒夫	中島逸美		
<p>敍從七位</p> <p>○昭和十八年八月四日</p> <p>海軍少將 山崎 助一</p> <p>敍從四位 (特旨ヲ以テ位一級追陞セラル)</p> <p>○昭和十八年八月五日</p> <p>海軍技師 神野茂三郎</p> <p>同 中谷 満夫</p> <p>同 加 治 洵</p> <p>同 梶原 克巳</p> <p>同 關根 芳房</p> <p>同 小島 欽一</p> <p>同 小野 鐵男</p> <p>同 下里 一男</p> <p>同 金高 滿</p> <p>同 西野木 忠一</p> <p>同 吉川 義夫</p> <p>同 今泉 三郎</p> <p>同 一戸 三平</p> <p>同 桑田 寛</p> <p>同 海軍理事官</p> <p>同 中 寛</p>																						

○昭和十八年八月九日

敍從六位

海軍少佐 沖本 郁

敍從七位

海軍理事官 西岡 兼次郎

○昭和十八年八月十四日

元海軍技師 荒川 俊二

海軍軍醫少佐 水足 豊來

海軍大尉 原田 文作

○昭和十八年八月十六日

海軍大佐 濱本 富義

同 澤田 富端

同 樋口 通達

同 杉本 宇市

同 大塚 敏雄

同 竹下 英五郎

同 大重 爲廣

同 村瀬 頼治

(各通)

敍從四位

同 海軍技師 倉本 誠至

同 海軍大佐 鈴木 達夫

同 黒田 麗

同 長谷 眞三郎

同 大熊 讓

同 朝倉 豊次

同 高田 侗

同 木本 伍六

同 西田 兵四郎

同 仁科 宏造

同 黒島 亀人

同 曾爾 章

同 服部 勝二

同 大野 竹二

同 森 武夫

同 足立 助藏

同 澤井 秀夫

同 寺山 榮

同 北浦 豊男

同 篠田 勝清

海軍公報(部内限) 號外

一三

1879

敍從七位

海軍機關兵曹長	同	海軍理事官	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
日野 忠	西野 巖	白井 静一	三溝 一郎	田村 俊一	山上 謙	大野 虎雄	佐野 四郎	青山 秀雄	加藤 裕	田崎 虎雄	大城 茂	福田 熊雄										

○昭和十八年八月十八日

海軍少尉 安藤 亘

敍正八位

○昭和十八年八月二十日

海軍少尉 藤原 馨

敍正八位

○昭和十八年八月二十一日

海軍少將 安藤 榮城

敍從四位 (特旨ヲ以テ位一級追陞セララル)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十八年九月二十二日(水)
海軍大臣官房

○ 通 牒

軍需機密需第五七七號ノ三

昭和十八年九月二十一日

海軍省軍需局長

各海軍軍需部長
各特設海軍軍需部長 殿

艦營需品供給停止、供給制限、代用品利用及規格低下ニ關スル件中追加ノ件申進

昭和十八年八月二十六日軍需機密需第五七七號ヲ以テ申進ノ首題ノ件中左ノ通追加セラレ候條了知相成度

供給停止品

主管別	區別	品名	記
主計長	備品鏡	大	同一品名ニシテ既發付ノ通牒等ト記事欄相違ノモノハ本號ニ依リ處理ノコト以下同斷
"	"	同	委見
"	"	椅子覆	甲

海軍公報 (部内限) 號外

"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	主計長
"	貸與品	消耗品	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	備品
ラ	アイスクリーム機	綴金甲	小型湯沸器	魚焼器	長椅子	丸卓子	衝立	洋服箆筒乙	掃除刷毛	書棚	机庚	下水溜	洗面鉢臺	洗面鉢甲
								運用長主管衣服函ニテ代用			机戊ニテ代用			

主計長	主管別	備品	區別	品名	記	事	類	備品ニ準ズ	
水注小	匙大	洋皿	ナイフ大	フオーク大	紅茶コーヒー瓶大	砂糖壺大	紅茶碗	紅茶皿	紅茶匙
<p>艦船准士官以上寢室用トシ其ノ他ハ供給セズ 同一品名ニシテ既發付ノ通牒等ト記事相違ノモノハ同 號ニ依ルノ外本號ニ依リ處理ノコト以下同斷</p>					<p>將官室用其ノ他ハ供給セズ</p>				
<p>士官室以上用其ノ他ハ供給セズ</p>									

主管別	區別	品名	記
主計長	備品	鏡	寢室用ハ現制ノ約二分ノ一、共用ハ現狀通トシ當分ノ間供給區分欄ノ一陸一ヲ除ク 同一品名ニシテ既發付ノ通牒等ト記事欄相違ノモノハ同號ニ依ルノ外本號ニ依リ處理ノコト以下同斷 片袖其ノ他ヲ廢シ經營需品標準圖() 内ノ寸度ノミトス
"	"	印	金具ヲ廢ス
"	"	圓形飯蒸釜	内地陸上部隊ノ一部ニ炊飯桶(木製)ヲ併用ス 自一〇八立 至一八立
"	"	配食器	内地陸上部隊ノ一部ニ木製桶使用ス 特大、大、小
"	"	食卓	アルミニウム又ハ木製
"	"	食器	内地陸上部隊ハ陶磁器製其ノ他ヲ主用ス 大、中、小
"	"	食器	
"	"	皿	
主計長	備品	鹽	將官室以上用其ノ他ハ供給セズ
"	"	藥味	
"	"	セリーグラス	
貸與品	甲類		備品ニ準ズ

代用品使用又ハ規格低下

1883

海軍公報(部内限) 號外

	〃	〃	〃
	貸 與 品	〃	〃
	「甲 類」	連 續 洗 米 機	萬 能 調 理 機
	備品ニ準ズ	一部木製品ニ轉換	

五

1884

1885

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千五百號

海軍大臣官房

昭和十八年九月二十三日(木)

○通牒

經豫第三號ノ二一一

昭和十八年九月二十一日

海軍省經理局長

關係各支出官、資金前渡官吏殿

俸給等支辨科目ニ關スル件通牒

當分ノ間昭和十八年勅令第三百三十七號各廳職員優遇令ニ依リ昇格シタル職員ノ俸給支辨科目ハ左記ノ通ト了知相成度

記

- 一 奏任官ニシテ勅任ノ優遇ヲ受クル者ニ在リテハ勅任俸給
- 二 判任官ニシテ奏任ノ優遇ヲ受クル者ニ在リテハ奏任俸給
- 三 雇員ニシテ優遇ニ依リ判任官ノ待遇ヲ受クル者ニ在リテハ雇員タリシトキノ當該科目タル俸給等

(參照) 本年三月二十日官報

○辭令

海軍主計中佐 松原 英三
第三課兼第一課勤務ヲ命ス(海軍省軍需局)

海軍主計大尉 福田 實
第一百海軍燃料廠ニユ一ギニヤ油田調査開發隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計少佐 小林 寛一
右同分任出納官吏ヲ免ス(以上ハ支官 海軍省經理局長)

○雜款

○潜航術練習生及下士官兵潜水艦講習員入校ノ件
十月一日以後首題左記ニ依リ取計相成度

海軍公報(部内限) 第四千五百號 昭和十八年九月二十三日

一〇二

種別	潜航術各種練習生	入校場所	記	事
	全部	大竹本校	大竹本校ハ山陽	
習員全部	下士官兵潜水艦講	吳分校	本線大竹驛下車	

追テ第四十九期潜航術各種練習生入校期日ハ十月一日ニ付爲念

(海軍潜水學校)

○事務開始
大湊海軍軍需部幌筵支部ハ九月一日占守島ニ於テ事務ヲ開始セリ

驅逐艦濱波艦裝員事務所ハ九月十五日舞鶴海軍工廠内ニ於テ事務ヲ開始セリ

横須賀海軍施設部名古屋支部ハ九月二十一日愛知縣豊川市假事務所ニ於テ事務ヲ開始セリ

本日暗送公報第九號發行ス

(限 内 部)

1887

海軍公報 (部内限) 號外

○ 懲 罰

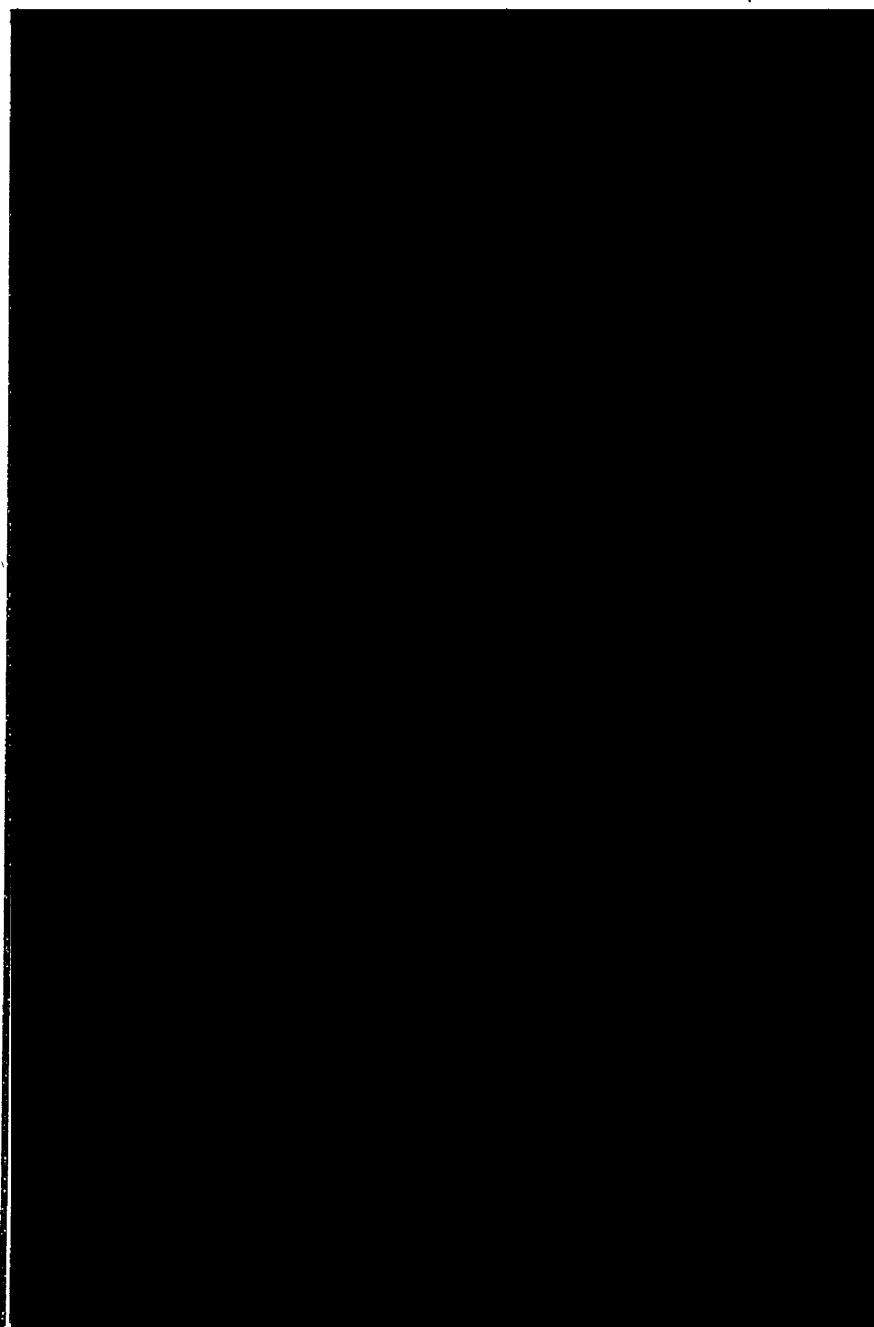
海軍公報 (部内限) 號外

海軍大臣官房

昭和十八年九月二十三日(木)

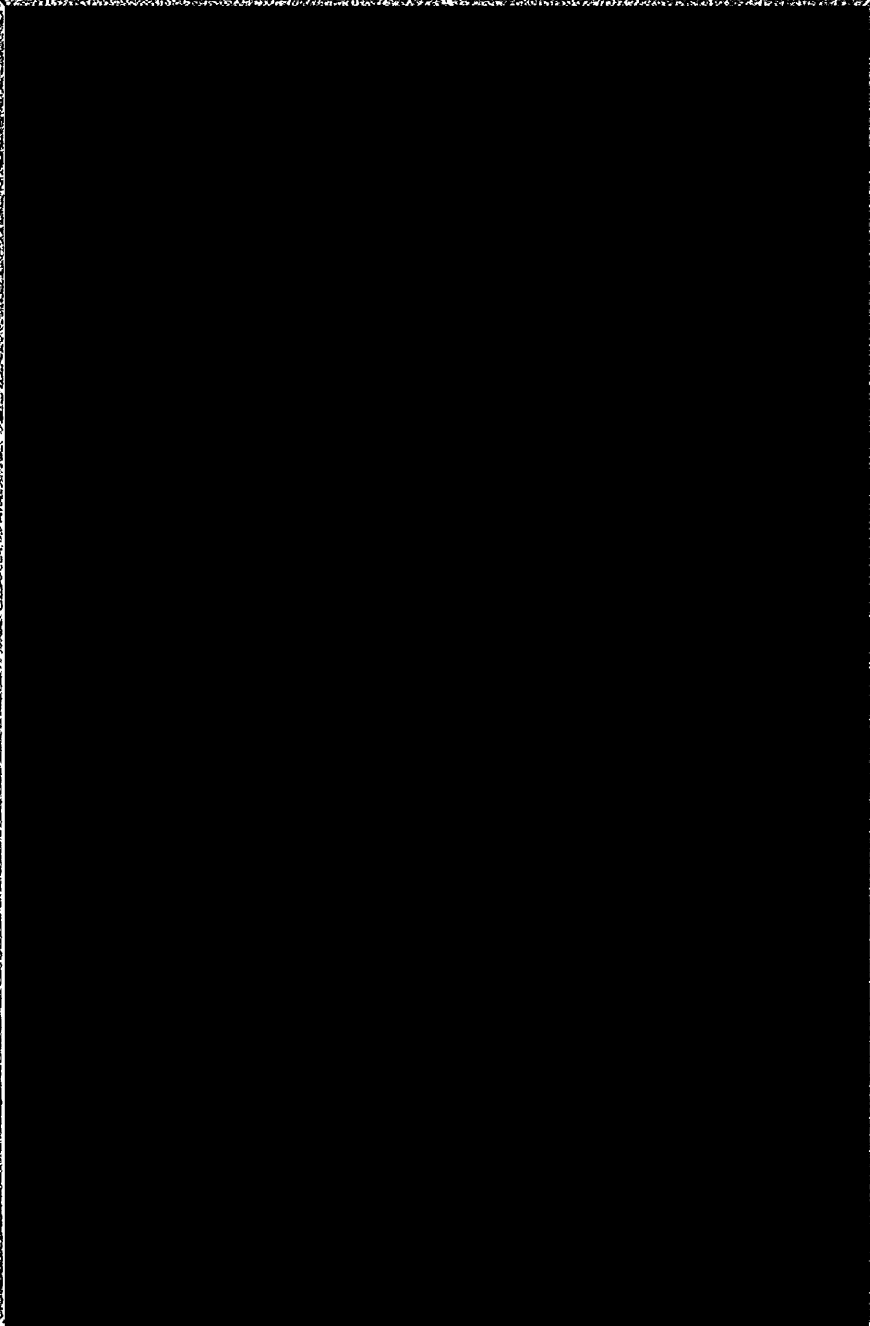
1888

海軍公報
(部内限)
號外



1889

海軍公報 (部内限) 號外



三

1890

海軍公報
(部内限)
號外

四

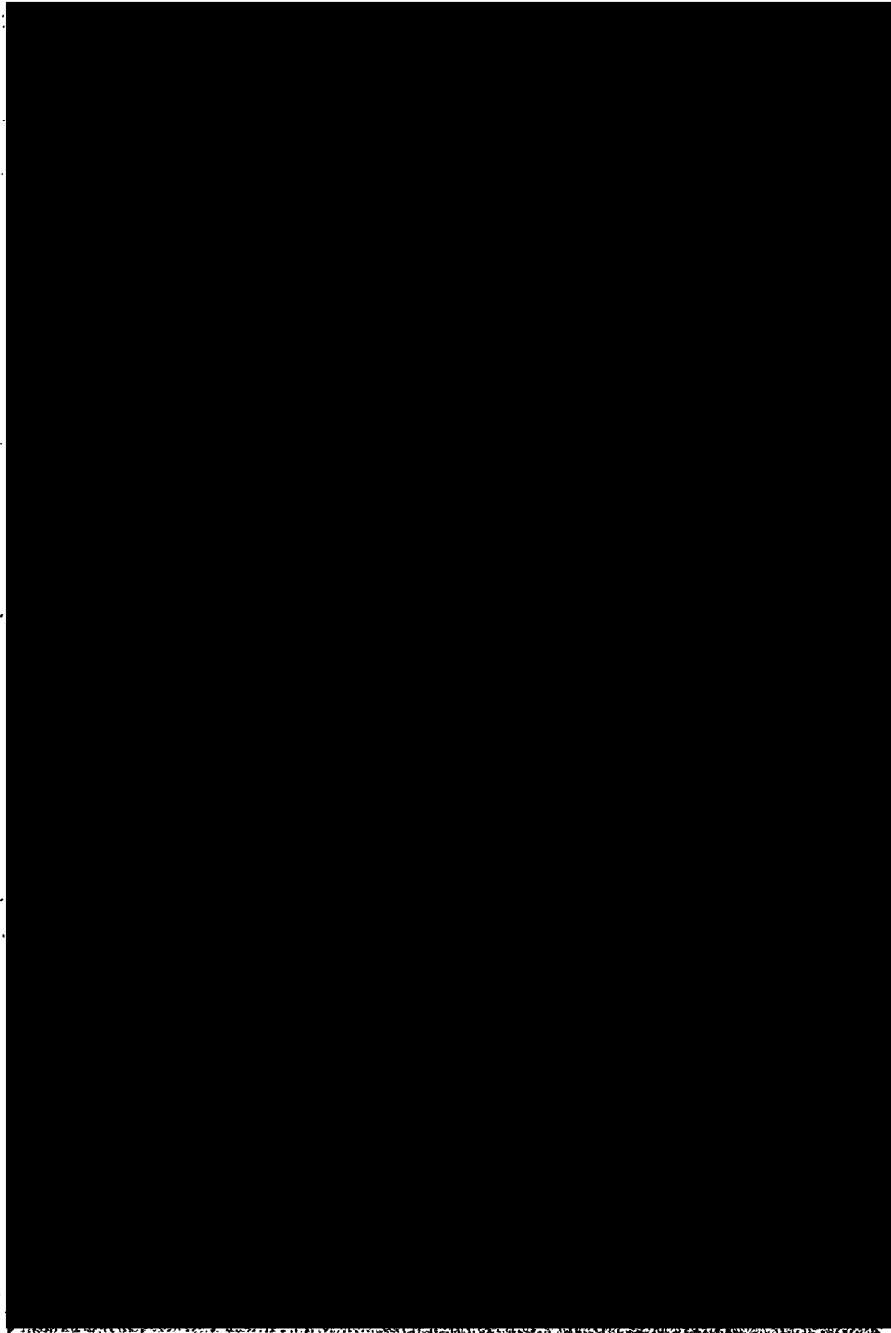
1891

海軍公報 (部内限) 號外

五

1892

海軍公報
(部内限)
號外



六

1893

海軍公報
(部内限)
號外

七

1894

海軍公報 (部内限) 號外

八

1895

海軍公報
(部内限)
號外

九

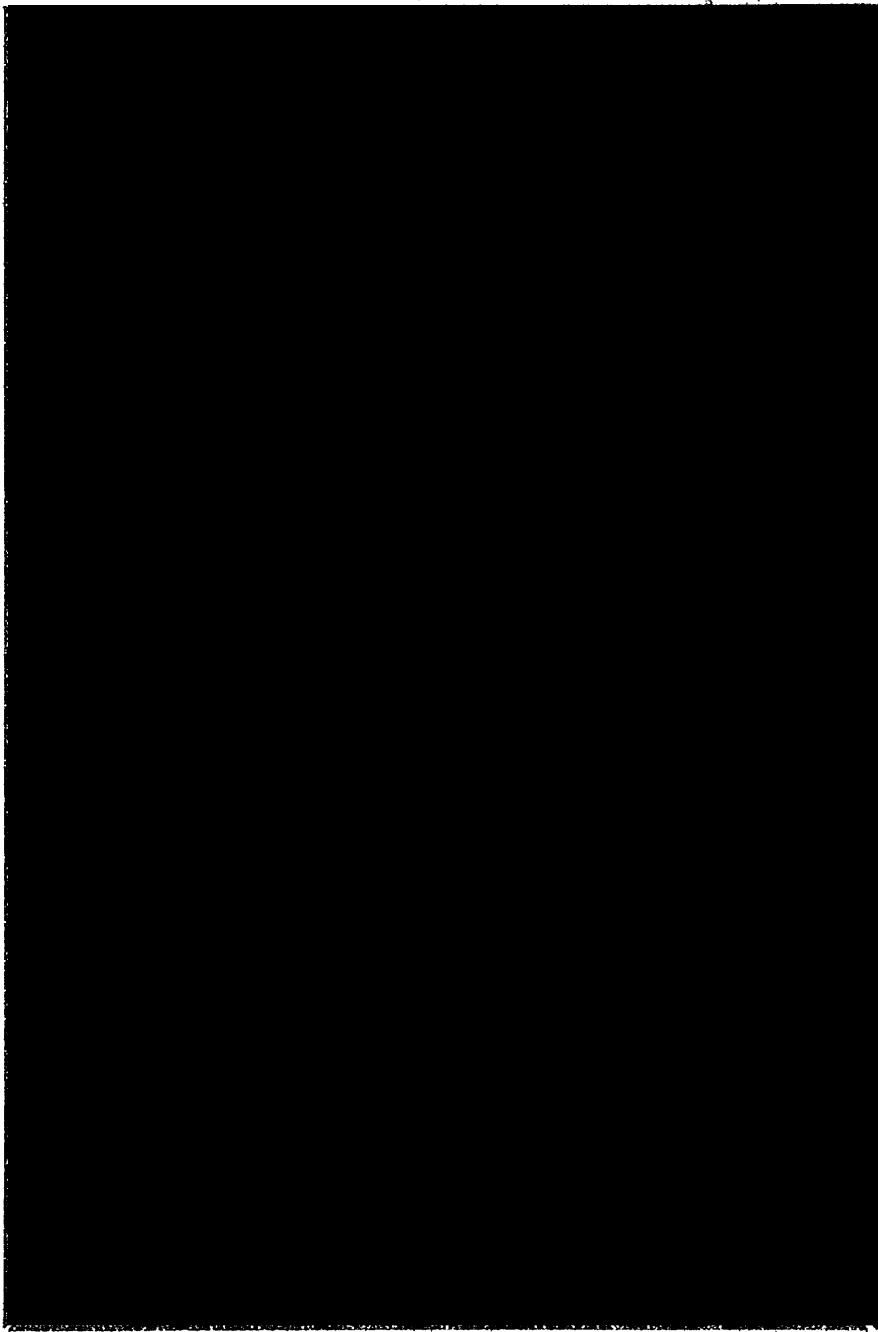
国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

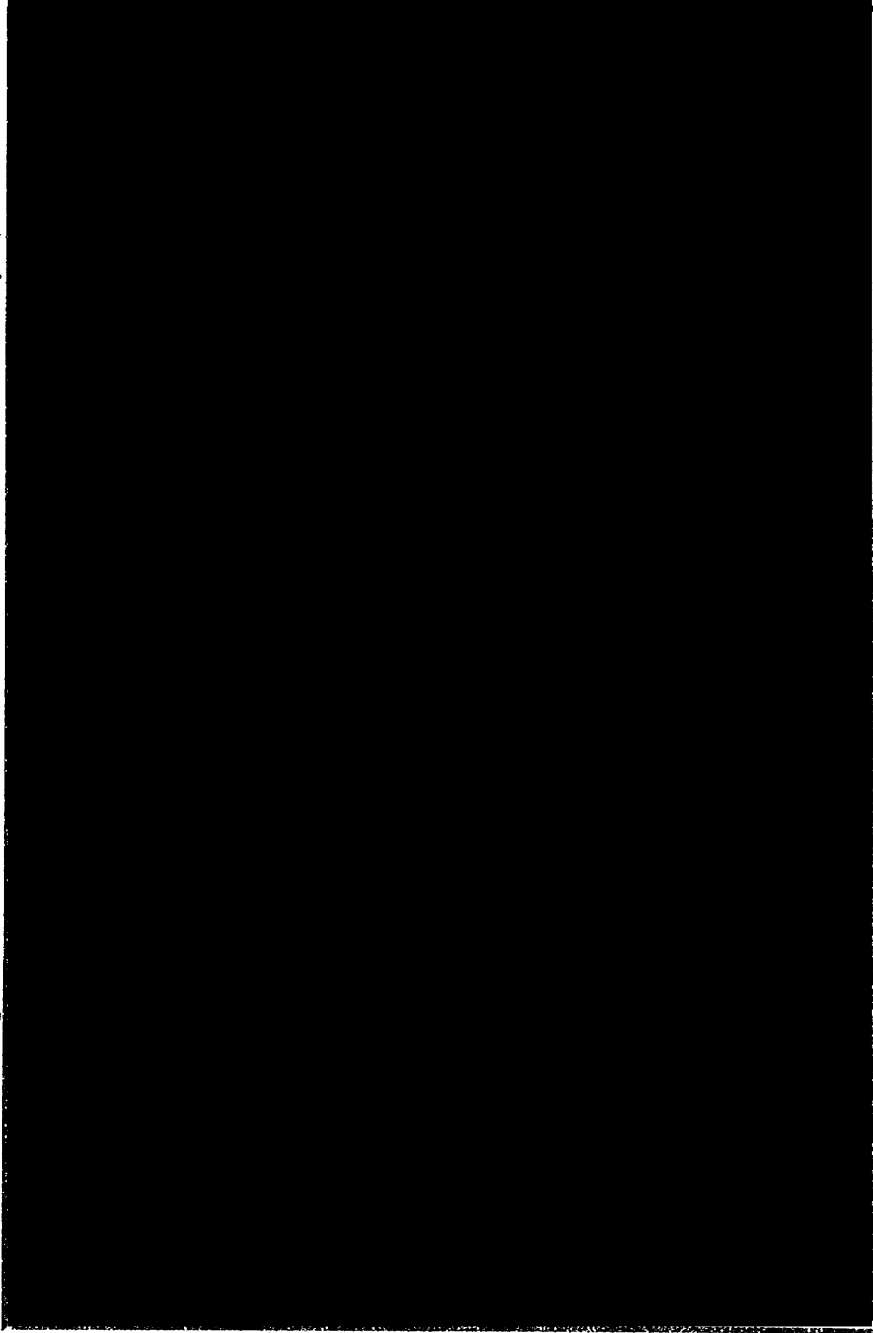
1896

海軍公報 (部内限) 號外



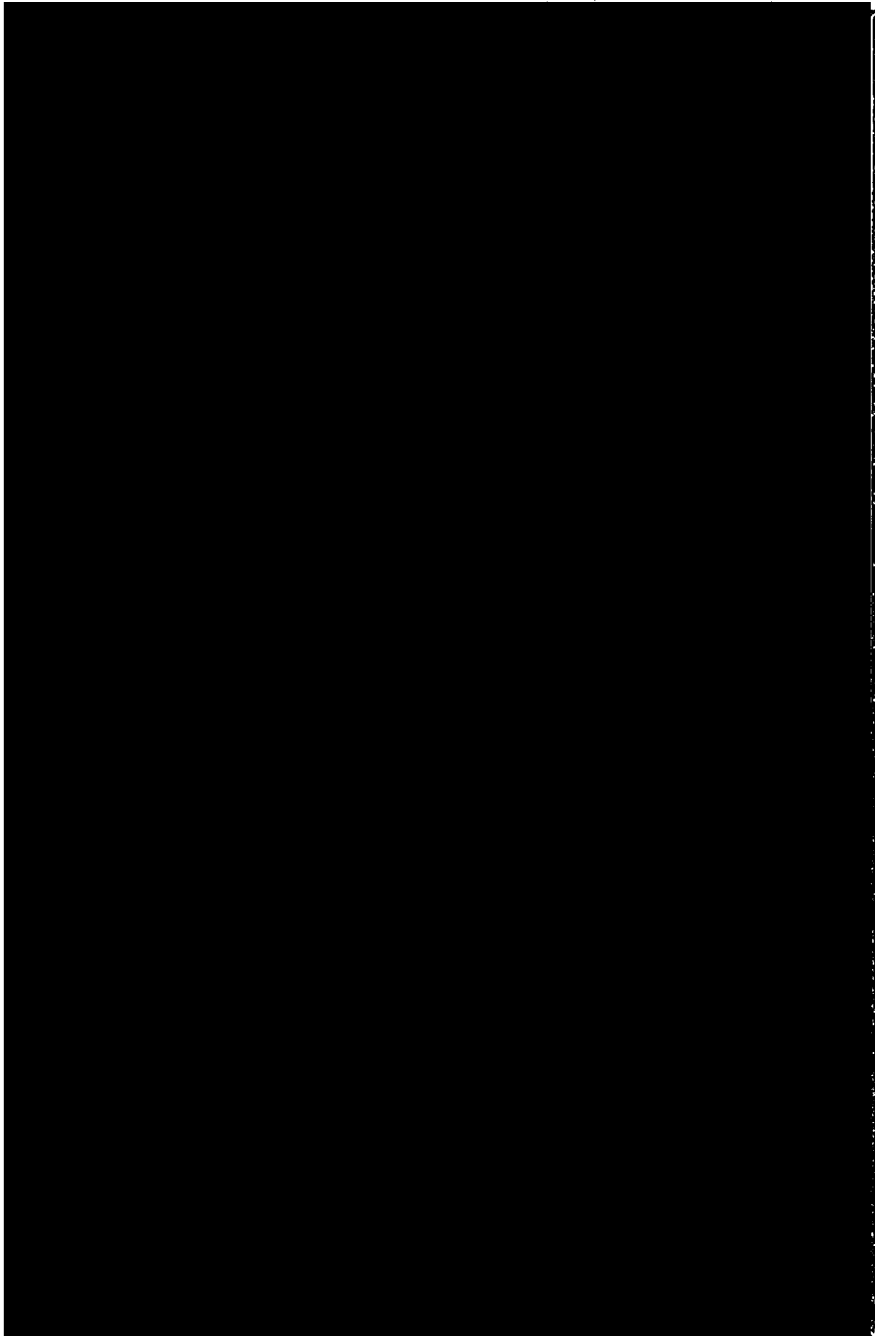
1897

海軍公報
(部内限)
號外



1898

海軍公報
(部内限)
號外



1899

海軍公報 (部内限) 號外

一三

1900

海軍公報
(部内限)
號外

一四

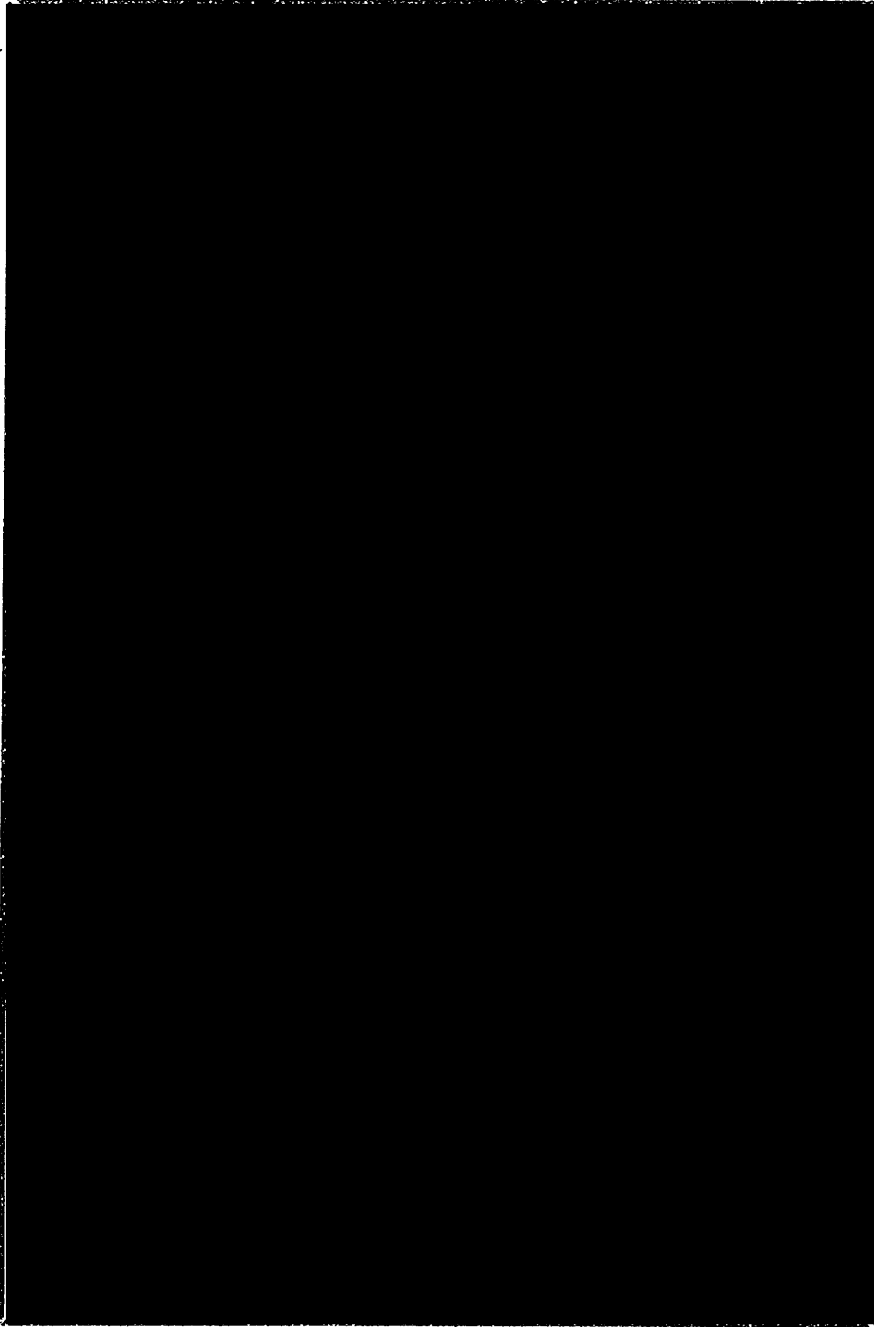
国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

1901

海軍公報 (部内限) 號外



一五

1902

海軍公報 (部内限) 號外

一六

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

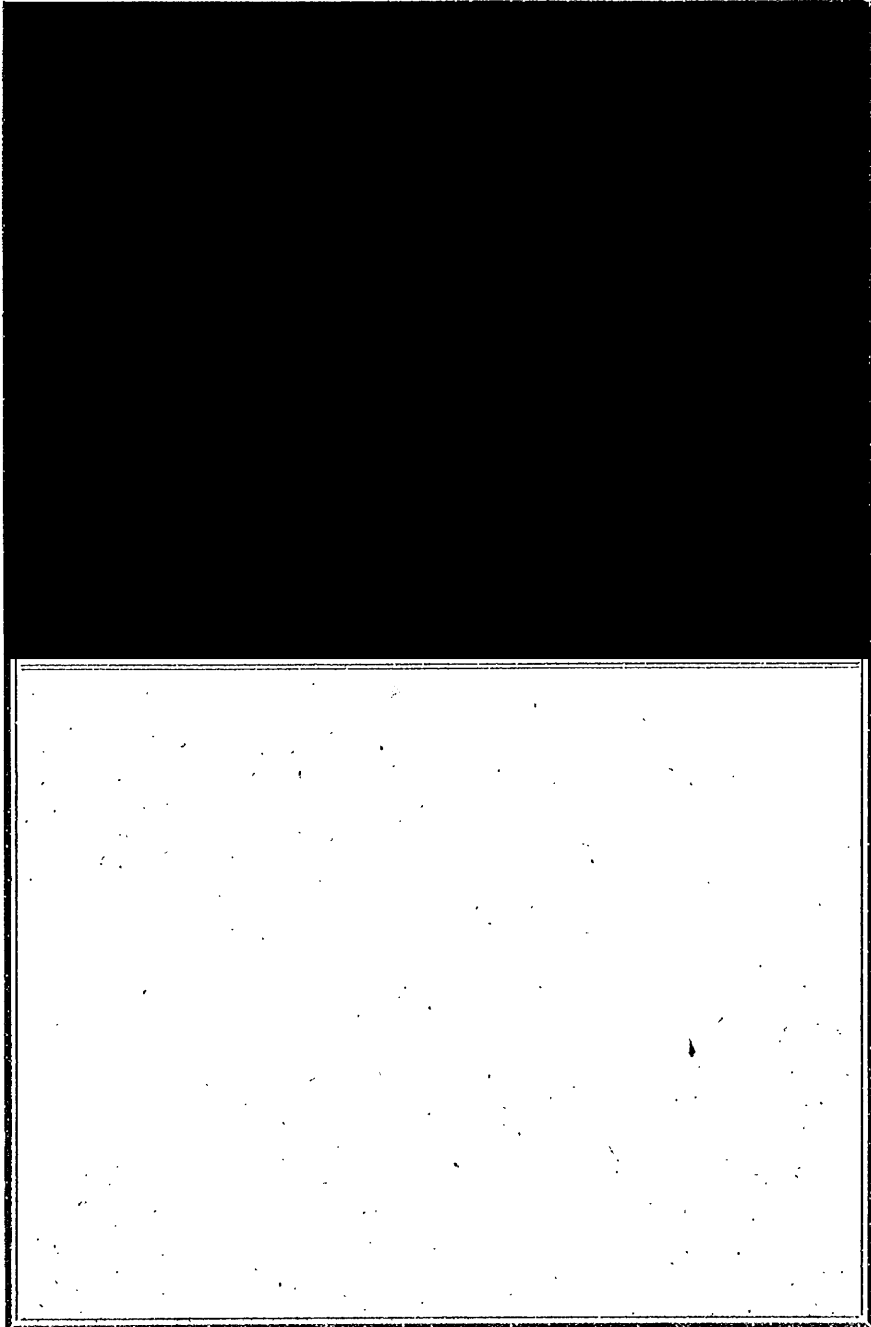
1903

海軍公報 (部内限) 號外

一七

1904

海軍公報 (部内限) 號外



一八

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十八年九月二十三日 (木)
海軍大臣官房

○郵便物發送先通知 (宛先ハ下段ノ通記載ノコト)

○艦船ノ部

- 一 摩耶、天津風、初風
- 一 龍田
- 一 舞子
- 一 南西方面艦隊司令部

○陸上ノ部

- 一 第三十一衛所隊
- 一 第三三一航空隊
- 一 香取航空基地
- 一 第七警備隊
- 一 新竹海軍航空隊高雄分遣隊 (假稱) 設立準備事務所
- 一 鳥取海軍航空隊 (假稱) 設立準備事務所

横須賀局氣付 (軍事郵便) 摩耶、天津風、初風
 吳局氣付 (軍事郵便) 龍田
 佐世保局氣付 (軍事郵便) 舞子
 同 「イ貳〇七貳〇」

横須賀局氣付 「ウ壹〇五ウ貳六九」
 佐世保局氣付 「イ貳參イ四五」
 千葉縣匝瑳郡共和村 香取航空基地
 吳海兵團内 「セ六五」

高雄海軍航空隊内新竹航空隊高雄分遣隊設立準備委員長
 鳥取縣西伯郡大篠津村 鳥取航空隊設立準備委員長

海軍公報 (部内限) 號外

隊、司令、軍醫長宛 天津風
主計長宛 初風

各艦分離行動中ニ付司令及各科長宛書類中各艦ニ
關係アルト認メラル、モノハ各艦ニ寫直送相成度

(第十六驅逐隊)

○自七月二十七日 間當隊宛ノ郵便物ハ事故ノ爲亡失ニ付
該當公用書類ハ至急再送方取計ハレ度

木更津ヨリ遠近ノ如何ニヨリ相違アルモ概ネ木更津
局へ七月九日頃横須賀局へ七月二十四日頃迄ニ到着
ノ分ヲ亡失セルモノト推定ス

追テ當隊宛ノ郵便物ハ七月九日ヨリ以前ハ木更津航
空基地氣付ウ貳〇四、同日ヨリ以後ハ横須賀局氣付
ウ八四、ウ貳〇四ニ有之爲念

(第五五二海軍航空隊)

○自八月一日 内地發送ノ當隊宛郵便物ハ事故ノ爲亡失
ニ付該當書類ハ至急再送ノ事ニ取計ハレ度

(第三監視艇隊)